



平成 27 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 27 年 1 月 30 日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5334 URL <http://www.ngkntk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 尾堂 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部部长 (氏名) 成田 宜隆 (TEL) 052(872)5918
 四半期報告書提出予定日 平成 27 年 2 月 13 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 27 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 3 月期第 3 四半期	257,864	5.1	46,572	25.5	53,055	29.6	29,781	16.9
26 年 3 月期第 3 四半期	245,414	25.2	37,102	161.9	40,939	154.0	25,470	120.3

(注) 包括利益 27 年 3 月期第 3 四半期 43,372 百万円 (3.4%) 26 年 3 月期第 3 四半期 41,947 百万円 (233.8%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
27 年 3 月期第 3 四半期	円 銭 136.85	円 銭 —
26 年 3 月期第 3 四半期	円 銭 117.02	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
27 年 3 月期第 3 四半期	百万円 472,926	百万円 337,296	% 70.8
26 年 3 月期	458,148	302,793	65.6

(参考) 自己資本 27 年 3 月期第 3 四半期 334,857 百万円 26 年 3 月期 300,634 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
26 年 3 月期	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 28.00
27 年 3 月期	—	18.00	—	—	—
27 年 3 月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 27 年 3 月期の連結業績予想 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	341,500	3.6	64,000	23.9	68,500	24.6	39,000	19.3	179.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P. 5 「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	223,544,820株	26年3月期	223,544,820株
27年3月期3Q	5,920,904株	26年3月期	5,911,360株
27年3月期3Q	217,626,786株	26年3月期3Q	217,652,702株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料 P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

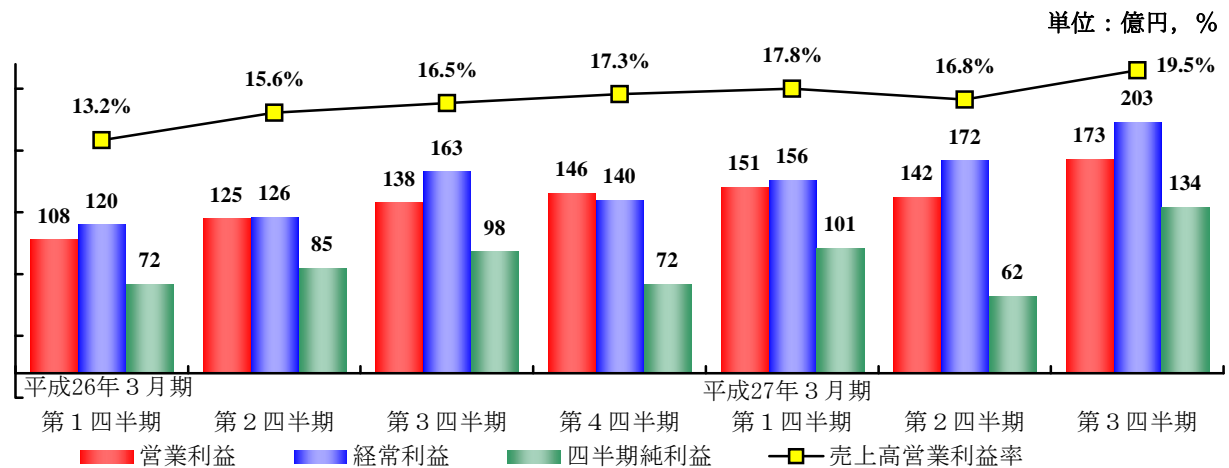
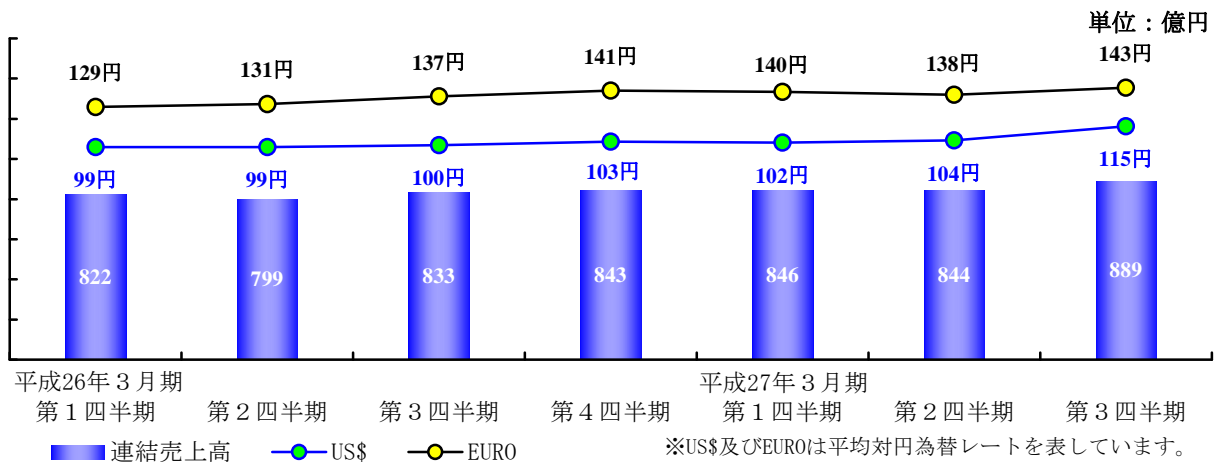
(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、中国においては輸出が緩やかに拡大しているものの内需は伸び悩み、特に不動産市況の冷え込みにより景気減速感が強まりました。米国においては景気拡大基調が持続しており、企業業績は堅調で雇用環境も回復し、金融政策では量的緩和政策の終了に踏み切りました。一方、欧州においては内需の伸び悩みにより低成長が続く、原油価格の下落によるロシア経済の減速が欧州の景気後退懸念を一層、高めました。わが国経済におきましては10月末の追加金融緩和政策の発表以降、金融市場では急激な円安、株高が進行し、ドル円相場は7年ぶりに120円台まで下落しました。これにより輸入原材料コストの上昇による物価上昇をもたらす一方で、輸出企業においては企業収益を一層、押し上げる状況となりました。

当社グループが主要な事業基盤とする自動車業界は、世界の自動車販売は米国や中国市場で堅調に伸びており、また欧州でも西欧市場を中心に需要が堅調となりました。わが国におきましては消費税率引き上げ後の低迷が続いていますが、低価格で燃費性能が高く維持管理費が安い軽自動車の販売が高水準となりました。

また半導体業界では、パソコン需要が低迷する一方で世界的にスマートフォンが急速に普及しており、半導体チップメーカーや携帯電話機メーカーにおいて価格競争が激化し低価格化が進みました。

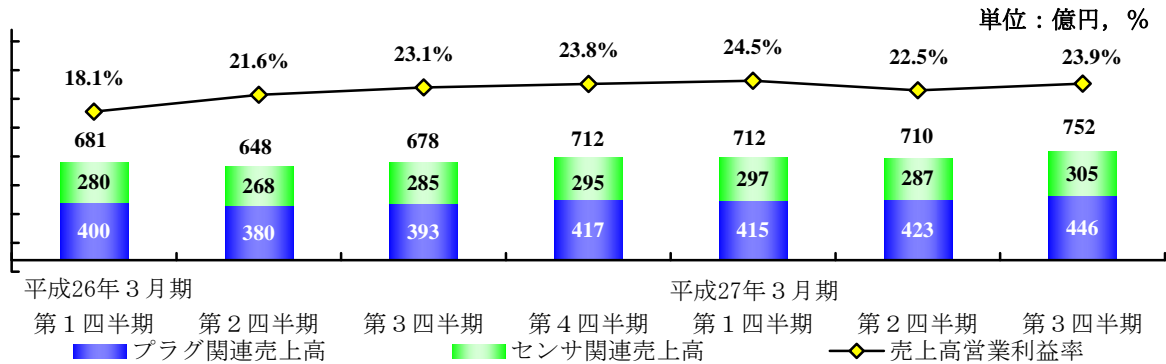
このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,578億64百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は465億72百万円（前年同期比25.5%増）、経常利益は530億55百万円（前年同期比29.6%増）、四半期純利益は297億81百万円（前年同期比16.9%増）となりました。



〈自動車関連〉

当事業は、北米や新興国市場における自動車販売が好調で、また欧州市場でも回復基調が見られたことに加え、為替相場での円安進行も追い風となり、売上高が堅調に推移しました。また現在、堅調な需要に対応すべく国内、海外にて生産工場の立上げを進め、増産体制を構築中です。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,173億38百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益513億6百万円（前年同期比22.3%増）となりました。

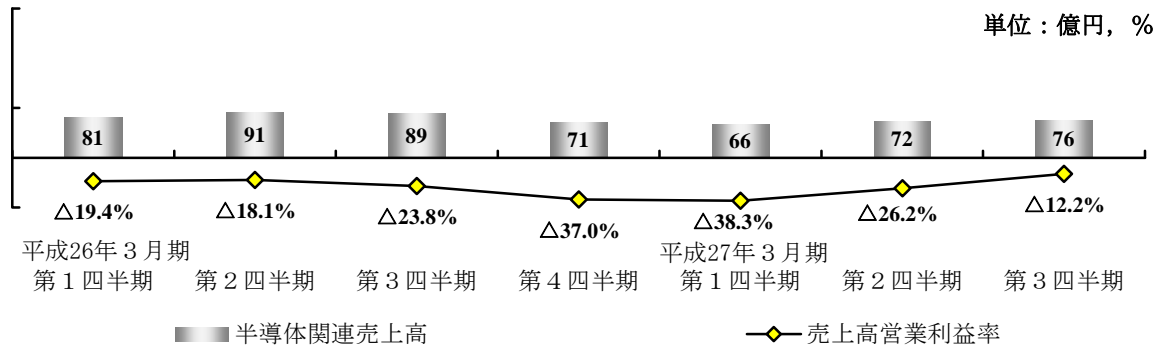


〈テクニカルセラミックス関連〉

半導体関連

当事業は、為替相場での円安効果があったものの、パソコンCPU用ICパッケージは協業先への商権譲渡により売上高が減少し、また携帯電話用ICパッケージにおいても売上高が伸び悩みました。

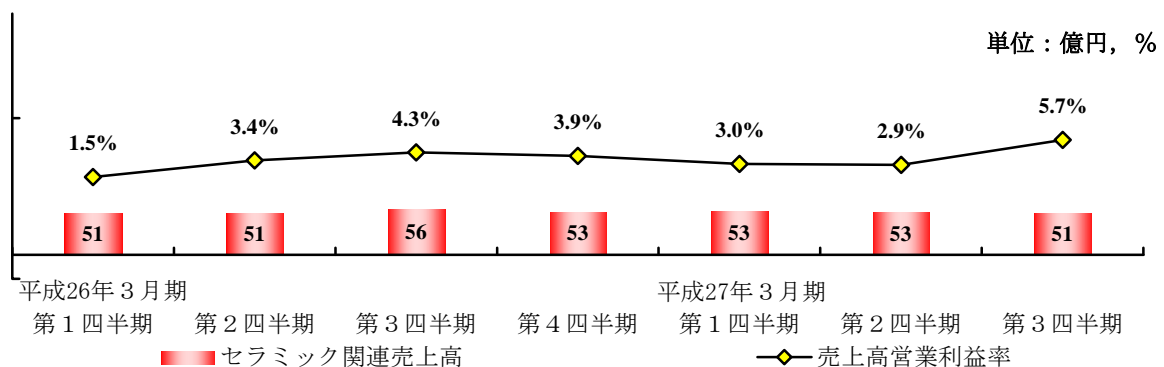
この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は214億52百万円（前年同期比17.5%減）、営業損失は53億60百万円（前年同期は53億22百万円の営業損失）となりました。



セラミック関連

当事業は、工作機械向けの製品出荷は、主に欧州や東南アジアを中心に堅調に推移しました。また産業機器製品の出荷も堅調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は156億99百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は6億3百万円（前年同期比21.6%増）となりました。



(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

	流動資産	固定資産	総資産	負債	純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
27年3月期第3四半期	263,975	208,951	472,926	135,629	337,296
26年3月期	269,209	188,938	458,148	155,354	302,793

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末比 147 億 77 百万円増加の 4,729 億 26 百万円となりました。これは、主として有形固定資産の増加によります。

負債は、前連結会計年度末比 197 億 25 百万円減少の 1,356 億 29 百万円となりました。これは、主として社債の償還及び未払法人税等の減少によります。

純資産は、主として利益剰余金の増加により、前連結会計年度末比 345 億 3 百万円増加の 3,372 億 96 百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

(累計期間)	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年3月期第3四半期	18,849	△13,907	△18,307	58,113
26年3月期第3四半期	37,416	△46,181	24,178	67,399

営業活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比 185 億 67 百万円減少の 188 億 49 百万円となりました。主として法人税等の支払によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 322 億 74 百万円減少の 139 億 7 百万円となりました。主として有価証券の取得による支出が減少したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、183 億 7 百万円となりました（前年同期は 241 億 78 百万円の収入）。主として社債の償還によるものです。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額 25 億 12 百万円を加えた純額で 108 億 53 百万円減少し、581 億 13 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 26 年 10 月 30 日に公表した業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しています。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が2,165百万円増加し、利益剰余金が1,477百万円減少しています。なお、損益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,508	37,288
受取手形及び売掛金	61,991	69,328
有価証券	80,943	55,786
たな卸資産	71,069	78,012
繰延税金資産	12,785	11,522
その他	11,361	12,506
貸倒引当金	△449	△470
流動資産合計	269,209	263,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,946	51,631
機械装置及び運搬具（純額）	38,375	56,005
土地	15,147	18,057
建設仮勘定	15,671	12,291
その他（純額）	2,955	3,138
有形固定資産合計	121,095	141,123
無形固定資産		
ソフトウェア	3,367	3,126
その他	252	290
無形固定資産合計	3,620	3,416
投資その他の資産		
投資有価証券	60,837	61,201
繰延税金資産	999	861
その他	2,488	2,453
貸倒引当金	△103	△104
投資その他の資産合計	64,222	64,411
固定資産合計	188,938	208,951
資産合計	458,148	472,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,625	23,832
短期借入金	1,594	1,054
1年内償還予定の社債	10,000	15,000
リース債務	252	226
未払法人税等	16,410	4,572
繰延税金負債	1	—
その他	29,776	27,930
流動負債合計	81,660	72,616
固定負債		
社債	40,000	25,000
長期借入金	5,000	5,000
リース債務	492	352
退職給付に係る負債	23,522	25,054
繰延税金負債	3,459	6,256
その他	1,220	1,351
固定負債合計	73,694	63,013
負債合計	155,354	135,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	54,824	54,824
利益剰余金	195,042	216,164
自己株式	△7,611	△7,639
株主資本合計	290,124	311,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,137	24,800
為替換算調整勘定	△6,543	2,539
退職給付に係る調整累計額	△4,083	△3,702
その他の包括利益累計額合計	10,509	23,637
少数株主持分	2,159	2,439
純資産合計	302,793	337,296
負債純資産合計	458,148	472,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	245,414	257,864
売上原価	167,717	166,051
売上総利益	77,697	91,812
販売費及び一般管理費	40,594	45,240
営業利益	37,102	46,572
営業外収益		
受取利息	872	1,140
受取配当金	816	1,030
負ののれん償却額	12	—
持分法による投資利益	367	863
為替差益	2,028	3,059
その他	793	1,472
営業外収益合計	4,890	7,566
営業外費用		
支払利息	375	303
休止固定資産減価償却費	190	143
その他	488	635
営業外費用合計	1,053	1,082
経常利益	40,939	53,055
特別利益		
固定資産売却益	74	62
投資有価証券売却益	11	—
特別利益合計	86	62
特別損失		
固定資産処分損	326	364
投資有価証券評価損	—	16
独占禁止法関連損失	—	5,687
特別損失合計	326	6,068
税金等調整前四半期純利益	40,698	47,049
法人税、住民税及び事業税	15,726	14,299
法人税等調整額	△726	2,737
法人税等合計	14,999	17,037
少数株主損益調整前四半期純利益	25,698	30,012
少数株主利益	228	230
四半期純利益	25,470	29,781

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,698	30,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,758	3,676
為替換算調整勘定	6,819	8,688
退職給付に係る調整額	—	381
持分法適用会社に対する持分相当額	671	614
その他の包括利益合計	16,248	13,360
四半期包括利益	41,947	43,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,692	42,909
少数株主に係る四半期包括利益	254	463

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	40,698	47,049
減価償却費	8,364	9,801
のれん償却額	△12	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	96	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△102
受取利息及び受取配当金	△1,688	△2,170
支払利息	375	303
持分法による投資損益 (△は益)	△367	△863
固定資産処分損益 (△は益)	252	302
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	16
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,386	△2,410
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,145	△1,857
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,786	△5,331
その他	418	△1,975
小計	44,110	42,762
利息及び配当金の受取額	1,619	1,875
利息の支払額	△260	△302
法人税等の支払額	△8,052	△25,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,416	18,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△304	△1,206
有価証券の純増減額 (△は増加)	△14,484	11,387
有形固定資産の取得による支出	△27,372	△28,697
無形固定資産の取得による支出	△618	△834
投資有価証券の取得による支出	△6,537	△1,946
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,607	7,100
その他	△471	288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,181	△13,907
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1	△705
長期借入れによる収入	5,000	—
社債の発行による収入	24,877	—
社債の償還による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△59	△27
配当金の支払額	△5,220	△7,173
その他	△419	△401
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,178	△18,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,110	2,512
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,524	△10,853
現金及び現金同等物の期首残高	49,874	68,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,399	58,113

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 関連	テクニカルセラミックス関連 半導体	セラミック	計					
売上高									
外部顧客への売上高	200,670	25,998	15,781	41,779	242,450	2,964	245,414	—	245,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	200,670	25,998	15,781	41,779	242,450	2,964	245,414	—	245,414
セグメント利益 又は損失(△)	41,938	△5,322	496	△4,826	37,112	△9	37,102	—	37,102

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 関連	テクニカルセラミックス関連 半導体	セラミック	計					
売上高									
外部顧客への売上高	217,338	21,452	15,699	37,151	254,490	3,374	257,864	—	257,864
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	217,338	21,452	15,699	37,151	254,490	3,374	257,864	—	257,864
セグメント利益 又は損失(△)	51,306	△5,360	603	△4,757	46,549	23	46,572	—	46,572

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成 26 年 4 月より、テクニカルセラミックス関連事業において、従来、セラミック関連に含めていた産業用セラミック製品のうち、半導体製造装置用製品につきまして、業務効率向上にむけた組織変更を行ったため、セグメント管理区分を見直し、半導体関連へ変更しました。

なお、前第 3 四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第 3 四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。